

世田谷区立池之上小学校改築基本構想（案）について

付議の要旨

世田谷区立池之上小学校について、改築及び保育施設との複合化の基本構想（案）を取りまとめたので報告する。

1 主旨

世田谷区立池之上小学校については、耐震診断の結果から改築が必要と判断し、令和元年9月に全面改築の整備方針を策定したところである。その後、区と学校関係者、地域住民による「世田谷区立池之上小学校改築基本構想検討委員会」を設置し、保育施設との複合化を含め基本構想案の検討を進めてきた。この度、令和2年3月に改築及び保育施設との複合化に関して基本構想（案）がまとまったので、報告する。

2 基本構想（案）の概要

（1）改築の基本的な考え方

- ①校舎棟、体育館棟、プール棟を含め、全面改築とする。
- ②保育施設との複合化を図る。
- ③改築中の仮校舎として、北沢中学校第二校舎（旧北沢小学校）を活用し、仮設校舎は建設しない。
- ④施設整備の発注方法は、設計施工分離発注方式とする。

（2）計画施設の概要

①敷地概要

所在地 世田谷区代沢二丁目4番9号
敷地面積 7,440㎡（自転車等駐車場敷地約140㎡を除く）

②建物概要

構造・階数 鉄筋コンクリート造、地上4階建
延床面積 約7,210㎡

建物（棟）		既存施設	整備方針
池之上小学校	校舎棟	3,907㎡	約6,850㎡
	体育館・特別教室棟	1,366㎡	
	プール付属棟	153㎡	
保育施設		0㎡	約360㎡
延床面積合計		5,426㎡	約7,210㎡

③主要室構成

- ・普通教室（14）、ワークスペース（3）、特別支援学級等（4）、特別教室（理科室、音楽室、図工室、家庭科室、図書室等）、多目的ルーム、体育館、新BOP室、プール諸室、給食諸室、管理諸室、等
- ・保育施設 ・防災倉庫等

(3) 基本構想案の特色

①学校配置計画

改築する校舎棟は近隣の住環境への配慮や、狭あいな道路に挟まれた施工条件が厳しい敷地である。このため、南北の道路から建設機械や資材の搬入通路を確保することで比較的工期短縮を図れる学校敷地の西側に校舎を配置し、校庭を学校敷地東側とする。また、学校機能をコンパクトにまとめ、周辺への圧迫感や日照・通風の影響に配慮し、プールを屋上に整備することで可能な限り校庭を広く確保した計画とする。

②保育施設配置計画

保育施設は1階南側に配置、園庭は日当たりの良い南側の配置とし、通園動線は学校敷地西側の商店街に面した通路を活用することで、小学校児童の登下校と錯綜しないよう配慮する。定員45名を想定し施設面積を確保した計画とする。

(4) 平面ゾーニング計画

①普通教室ゾーン

普通教室は校舎2、3階の東側校庭に面した位置に配置する。また、普通教室と同じ階にワークスペースを設け、多様な学習環境に対応が可能な計画とする。

特別支援学級等は専用の玄関が配置可能で落ち着いた環境が期待できる、1階北側に配置する。

②管理ゾーン

管理諸室のうち職員室、校長室、事務室は、校庭の視認性など管理運営に配慮し、1階に集約した配置とする。

保健室は、外部からの出入りの確保や緊急車両の寄付きが可能な1階の校庭に面した配置とする。

主事室はセキュリティーに配慮し、2階児童用昇降口に接した配置とする。

③屋内運動場

屋内運動場は1階西側に配置し、自然採光及び通風を確保するためハイサイドライトを設ける計画とする。

④特別教室ゾーン

理科、家庭科、図工、音楽の各特別教室は、教室と同じ2・3階の校舎北側または南側に配置する。

図書室は校舎棟2階中央に設け、吹抜、ハイサイドライトにより自然採光、自然換気を確保した計画とする。

多目的ルームは地域開放時の動線に配慮し、校舎2階南側に配置する。

⑤新BOP室

新BOP室は、運営上必要となる専用玄関を設けることが可能で、校庭に面した1階南側に配置する。

⑥地域開放ゾーン

これまでの校庭、屋内運動場及び家庭科室の地域開放に加え、改築後は新たに図書室をはじめ、多目的ルーム、地域学校会議室、特別教室（音楽室、図工室、理科室）についても、地域の需要等を踏まえ開放を想定し、セキュリティー区分に配慮した計画とする。

⑦保育施設ゾーン

保育室は、日当たりの良い環境を確保するため、南向きに保育室を想定するとともに、園庭も南に配置する。また、駐輪スペースを西側門内に設置し、利便性に配慮する。

⑧区立自転車等駐車場

区立自転車等駐車場は、学校敷地を分割して計画することとし、児童の登下校動線に比較的影響が少ない現在とほぼ同位置に設置し、現在の駐輪台数120台を確保する計画とする。また、効率的に敷地を利用するため、電磁ロック式ラックを設置して、管理人室を設置しない計画とする。

3 概算経費

(1) 概算工事費

約33.0億円

〈内訳〉

設計費 : 約2.0億円

改築費 : 約28.2億円

解体工事費 : 約2.7億円

※外構工事費（校庭整備含む）及び民間で内装を整備した場合の保育園の建築工事費（約1億円）は上記概算額に含まず。

※特定財源として、国庫補助事業（公立学校施設整備費負担金及び学校施設環境改善交付金）の活用を想定し、約4.9億円を見込んでいる。

(2) 概算年間施設維持管理費

約3.3千万円

4 今後のスケジュール（予定）

令和2年 4月 福祉保健常任委員会、文教常任委員会

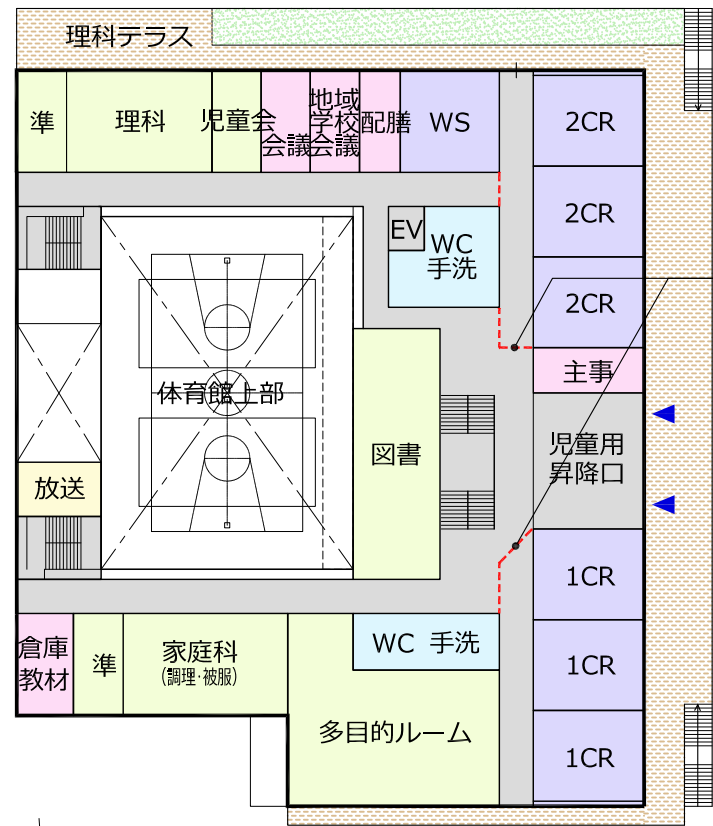
5月 基本構想住民説明会

基本設計

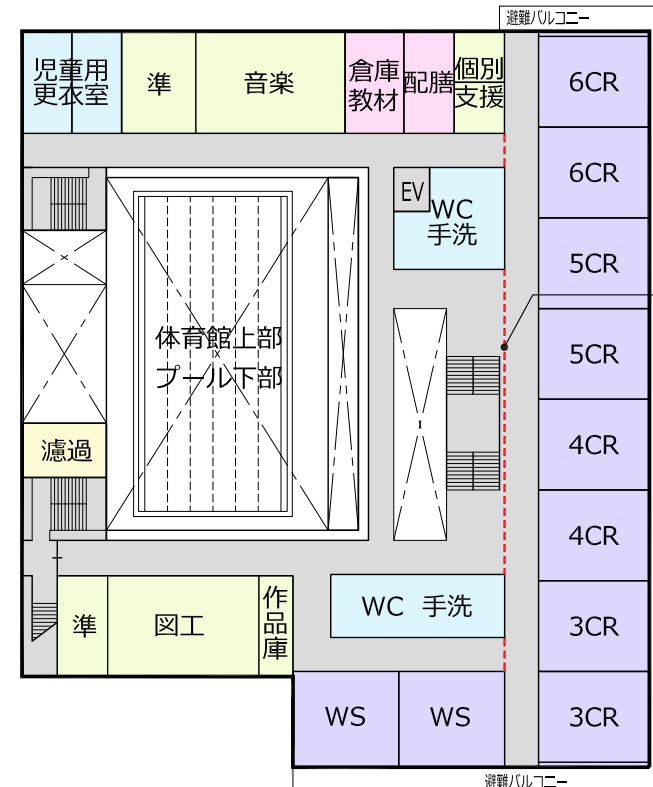
令和3年度 実施設計、既存校舎解体工事

令和4年度 改築工事

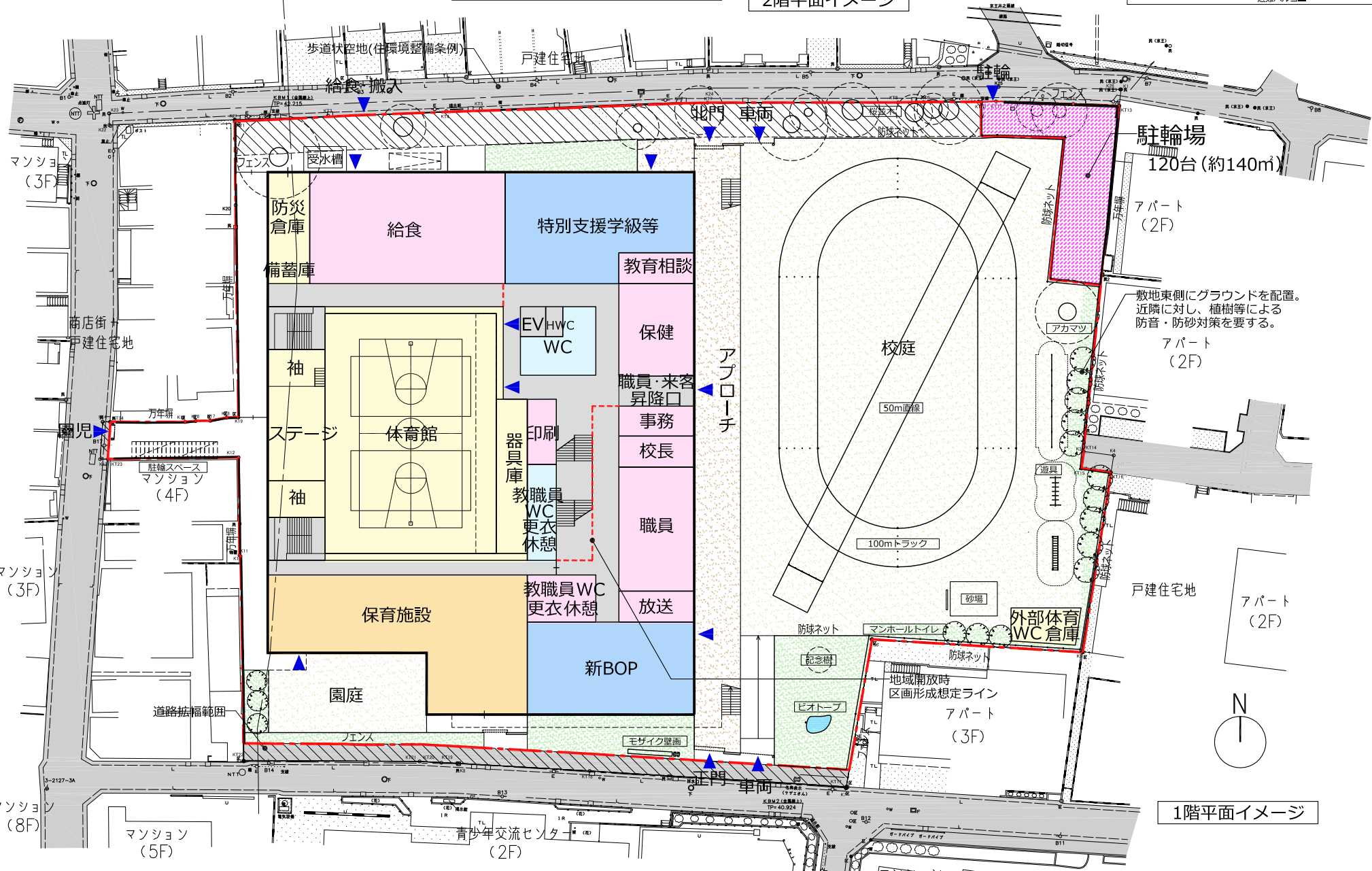
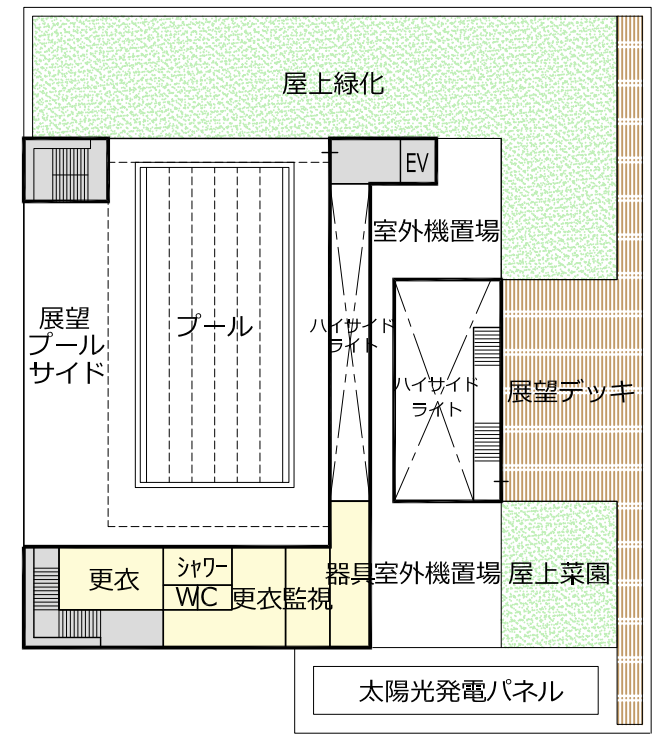
令和5年度 改築工事、校庭整備工事、新校舎供用開始



地域開放時
区画形成想定ライン



地域開放時
区画形成想定ライン



校庭	約2,130㎡
校庭 (周囲緑地を含む)	約2,230㎡
アプローチ	約 370㎡
2階デッキ	約 300㎡
運動会利用面積合計	約2,900㎡

校舎西側配置案